

# しびれ 圧迫箇所を切開

## 病院の実力

\*高知編 124

### 手外科手術

今回の「病院の実力」は、様々な手のトラブルを取り扱う「手外科」の手術を取りあげた。一覧表には、昨年1年間の「総手術件数」と、主な疾患群別に「骨折・脱臼・靱帯損傷」「末梢神経障害・損傷」「ばね指・ドケルバン病」「関節疾患」を並べた。

#### 病院の実力「手の外科手術」

医療機関別2017年治療実績  
(読売新聞調べ)

医療機関名	総手術件数	骨折・脱臼・靱帯損傷(件)	末梢神経障害・損傷(件)	ばね指・ドケルバン病(件)	関節疾患(件)
<b>徳島県</b>					
鳴門	694	195	134	79	45
徳島大※	42	0	0	0	0
<b>香川県</b>					
香川県済生会	574	201	60	149	39
三豊総合	261	143	46	30	17
香川大	132	11	18	7	11
<b>愛媛県</b>					
松山赤十字	570	220	110	42	55
<b>高知県</b>					
フレックク	322	19	117	118	46
国吉	237	52	47	64	16

「ク」はクリニック。※「徳島大」は形成外科・美容外科のみの回答。

手外科の多くの疾患は、貼り薬や飲み薬、注射、器具などの治療が基本だ。手

術が検討されるのは主に、こうした治療では治りにくいケースだ。高齢者が転倒し、手首を

骨折することは多い。ギプスで固定して回復を待つこともあるが、金属で固定する手術が行われることもある。

末梢神経障害の代表例で、手や指の先にしびれが出る「手根管症候群」や、代表的な腱鞘炎の「ばね指」と「ドケルバン病」は、女性に多いのが特徴だ。手の使いすぎだけでなく、ホルモンバランスの変化に伴うむくみなどの影響もあると考えられている。これらの手術ではそれぞれ、神経や腱を圧迫する靱帯や腱鞘を切開する。

全国の調査結果は「安心の設計面」に20日に掲載しました。次回は「膝関節の治療」。地域版は7月22日の予定です。